

近年、台風などの自然災害発生時に電力の供給がストップするケースが頻発しています。その際、携帯発電機などの防災用品が役に立つということで、ホームセンターの防災グッズコーナーでも、気軽に購入できるようになりました。しかし、使用方法を誤ると重大な事故に繋がりますので、この機に正しい使用方法を確認しておきましょう。



取 扱 注 意



その使い方は安全ですか？

携帯発電機・カセットコンロ・モバイルバッテリーの使用にご注意ください！

災害時や急な停電時…
電源確保に役立つ

携帯発電機

災害による停電が長期化する場合の非常電源として、携帯発電機をお持ちのご家庭が増えています。情報源となる携帯電話やテレビに加え、夏の暑さや冬の寒さが厳しい時期には、エアコンや暖房機器の電源確保が欠かせません。しかし、携帯発電機の排ガスには毒性の強い一酸化炭素が含まれており、屋内での使用による死亡事故も報告されています。

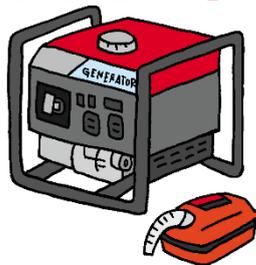
「ポータブル電源」と「発電機」の違いって？

【ポータブル電源】 携帯電話の充電などに使うモバイルバッテリーよりも大容量なリチウムイオン電池。充電池のため、あらかじめ充電が必要。排気がないので屋内で使用可。ACコンセント付きで様々な電化製品に使用できるが、発電機に比べると出力が小さく、消費電力の小さいものしか使用できない。リチウムイオン電池は寒過ぎたり暑過ぎたりする環境だと、電池の劣化や使用時間が短くなることがある。



【発電機】

燃料を燃やして発電できる機械。家庭用発電機の場合、燃料はガソリンが主流。大きな特徴は、事前に充電をしなくても燃料さえあれば長時間使い続けられる。出力が大きいため、冷蔵庫、炊飯器、エアコンなどの消費電力が高い家電を使うことも可能。ただし使用時の音が大きく排気（一酸化炭素）が出るので、屋内や近隣に人がいる時は使用できない。

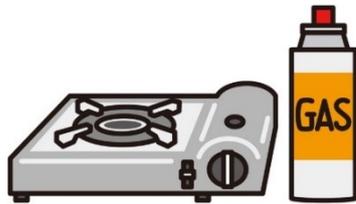


発電機の使用時の注意点

使 用 前	使 用 中	使 用 後
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 運転する前に必ず点検。 ✓ 換気に注意。 ※室内など換気の悪い場所では絶対に使用しない！（屋外であっても、風通しのよいところで使用する） ✓ 水平に設置。 ✓ 雨や水のかからない場所で使用。 ✓ 火気厳禁。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ まわりに燃えやすい物を近づけない。 ✓ 火傷や感電に注意。 ✓ 異常を感じる、発電機から離れる、燃料の補給時はエンジンを止める。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 水洗いしない。 ✓ 長期保管は燃料を必ず抜く。 ✓ 点検や清掃はエンジンを止める。

非常用電源は用途や人数に合わせて選びましょう！

カセットこんろ



カセットこんろの事故は年間を通して発生が見られています。特に、気温が下がる冬場は鍋料理をする機会が増えるため増加傾向にあります。一方で、台風などによる災害により、ガス供給が停止した際には、カセットこんろを使用して調理を行うことも考えられます。しかし、カセットこんろの誤使用は、ボンベの破裂による火災など重大な事故につながる可能性があります。

使用時の注意点

- ✓ 受け皿・ボンベは正しくセットして使用する。
- ✓ 2台以上並べて使用しない。
- ✓ カセットコンロのボンベが隠れるような大きい調理器具は使用しない。
- ✓ カセットコンロ本体が高温になる場所では使用しない。
- ✓ 燃えやすいものの近くでは使用しない。
- ✓ 本来の使用用途以外に使用しない。(暖房代わりなど)



カセットこんろ利用増で事故が多発。

《事故事例》

- ボンベ加熱
- ガス漏洩
- 可燃物への着火
- 酸欠



カセットコンロは便利な半面、使い方を間違ふと思わぬ事故を引き起こします。慣れや油断で誤った使い方をしてしまうこともあるので、取り扱いには十分注意してください。

モバイルバッテリー

使用時の注意点

- ✓ リコール対象製品でないか、リコール情報を確認。
- ✓ 新規に購入する際は、PSEマークを必ず確認。
- ✓ 製品本体に強い衝撃、圧力を加えない、高温の環境に放置しない。
- ✓ 充電中は周囲に可燃物を置かない。
- ✓ 膨らんでいる、熱くなっている、変な臭いがするなど、いつもと違って異常を感じたら使用を中止する。
- ✓ 充電コネクタの破損や水ぬれに注意。
- ✓ 充電時のアダプターは、バッテリー付属のものを使用する。
- ✓ 公共交通機関での事故を避けるため、持込規則を確認して、それに従う。
- ✓ 使用済みモバイルバッテリーはリサイクルに出す。やむを得ず廃棄する際には他の家庭ごみと区別して出す。



災害時の携帯電話等の充電には、モバイルバッテリーの存在が欠かせません。簡単に手で持ち運べるサイズの製品もあり、非常に身近な存在です。一方で、一定数の事故が毎年発生しています。

モバイルバッテリーに関する事故件数は増加傾向にあり、事故の内容としては、発煙・発火・過熱がほぼ半数を占めており、火災も発生しています。モバイルバッテリーに内蔵されているリチウムイオン電池は、内部に膨大なエネルギーを溜め込みます。その構造上、発火・爆発しやすい、大変デリケートな特性を持っているため、丁寧に取り扱う事が何より肝心です。ズボンのポケットやバッグの底のほうに入れたりするなどして強い圧力をかけたり、高いところから落としたりすると危険です。また、真夏にクルマのダッシュボードに放置するなど、高温の環境にも注意が必要です。

☞災害時にはモバイルバッテリーを持って避難したり、避難所で使用したりする機会が増加します。取り扱いには十分注意してください。



弊社は損害保険会社8社、生命保険会社8社、少額短期保険会社1社を取扱い、お客様の企業経営から個人のライフプランまで総合的なリスクマネジメントをご提案いたします。現在弊社以外でご契約の保険の証券診断も承りますので、お気軽にご相談ください！

弊社では日頃の営業活動にお客様からのお声を活用させていただきたく、弊社ホームページ内に“ひとことカード”のサイトを開設いたしましたので、忌憚ないご意見をお届けくださいますようお願いいたします。★“ひとことカード”のサイト→

